

協働を推進する取り組み 1-1

ちょっと
ボランティア



《「ちょっと」から始めるボランティア》
市民がボランティアを始めるきっかけ
作りに取り組んでいます。

今年度はコロナ禍で福祉施設などでの
ボランティア活動が制限される中、自宅で
気軽に始められる手作り雑巾ボランティ
ア活動を企画しました。家から地域へ、皆
さんの気持ちを届けましょう！！

＜参加方法＞
手作り雑巾ボラ
ンティア活動へ
の参加方法は、
広報野々市お知
らせ版1月号4
ページを見てく
ださい。

地域のつながり の 今こそ大切に



コロナ禍でさまざまな制約が求められる中、
地域のつながりを大切にしている市民の活動を
紹介します。

野々市市では、平成25
年に市社会福祉協議会と
ともに「野々市市地域福
祉計画・地域福祉活動計
画」を一体的に策定しま
した。この計画は、地域
福祉の課題解決に必要な
市民活動の推進と、その
しくみづくりを目的とし
ています。

計画におけるこれまで
の取り組みにより、地域
のさまざまな立場の人が
福祉に関心を寄せ、活動
に関わる人も少しずつ増
えています。

今年はコロナ禍で多く
の市民が集う活動ができ
ませんでした。計画に
おいて重点化する「協働
を推進する取り組み」で
は、市民が主体となつて
工夫を重ねながら活動を
継続しています。

皆さんも一緒に活動し
ませんか。

《気付いて、つなぐ・・・》

日常生活の困りごとを気軽に相談できるまちづくり
を目指して「まちかどサポーター」を養成しています。
地域で活動する団体や事業所にサポーターがいること
で、さりげなく見守り、必要な時には関係機関につな
ぐことができます。

コロナ禍で養成講座を開催し新たなサポーターを増
やすことが難しいなか、現任のサポーター同士のつな
がりを深め、知識向上を図る目的で「まちサバだより」
を定期的に発行していきます！

協働を推進する取り組み 1-2

まちかど
サポーター



協働を推進する取り組み 2

支え合い



《支え合える地域を作りたい》

これまで『地域支え合いマップ』を通して、市民
の皆さんや地域包括支援センターと共に、ごみ出し
や除雪、見守りなどの身近な地域（主に町内会）で
の支え合いを進めてきました。今後は、これまでの
活動の成果を『地域の宝物』として市内で共有でき
るよう見える化を図り、さらに野々市市の支え合い
に活用できるよう取り組んでいきます。



おうちで始める
ちょっとボランティアで
集まった雑巾やマスク
を届けました。



ボランティア活動に興味のある人は、
下記まで問い合わせください。
福祉総務課 ☎076-227-6061
市社会福祉協議会 ☎076-246-0112

《プランター部発足2年目！》

農園を通して集う場を作ってきましたが、農園に
加え『プランター部』を昨年発足しました。自分の
プランターを農園の周りに並べ、それぞれ部員が野
菜を育てます。畑にはベテラン市民がいるため、初
めての人も育てることが出来ます。今年は3つの密
に気を付けながらですが、子どもからお年寄りまで
多世代が集まり、自然と交流が生まれました。これ
からも気軽に集える場を広げていきます。

協働を推進する取り組み 3

集う場を
充実させよう



《民生委員活動も変わります！》

地域福祉の担い手である民生委員・児童委員も、コロナ
禍で活動継続のための検討が必要となりました。高齢者な
どへの定期的な見守り訪問も一時は電話による安否確認に
切り替えましたが、民生委員同士の情報共有や勉強会、研
修会についても「密」を避ける観点から、十分な活動が困
難となりました。そこで、民生委員同士の情報共有や研修
会にオンラインで参加を可能とするためタブレットの導入
に踏み切りました！今後は、「結ネット」も活用し、コロ
ナ禍における安全・安心のネットワークの強化や、高齢者
などの安否確認・相談などへの活用も検討していきます。

